（毎月1日・15日発行）定価一部5円 （昭和28年6月10日 才三種郵便物認可） 【才130号】

市政だより

発行所 苫小牧市役所
編集発行人 新岡正敏
印刷所 苫小牧印刷工業株式会社

着々進む築港工事の現状

港の前途に明るい希望

市長 田中正太郎

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。皆さんとご一しよに輝かしい昭和三十一年の新春を迎えることができましたことは、私の心から喜びに堪えないところであります。清新の気みなぎる元旦にあたり、皆さまとともにそれぞれの立場におきまして精々発展のため更に決意を新たにして才一歩を大きく踏み出したいものと存じます。昨年四月私は三たび市長に就任するとともにまず北海道開発のセンターとして工業地帯の造成のために工業港の促進と併行して工場誘致に最大の努力を払うことを決意し、大都市計画の重要な諸般の仕事を遂行しようと微力ながら努力してまいりました。すなわち、市議会の深い御理解のもとに機構改革を断行し、これに伴い大巾な人事異動により重要な諸施策遂行の原動力である人的要素の強化を図る一方、懸案の図書館はじめ緑町の公営住宅百戸、母子住宅などの建設も実現をみ、消防署の建築もその緒につき、また都市計画による大通りの拡巾工事、下水道、排水溝施設の整備なども着々進み、更には高度集約酪農地区指定も功を奏しまして漸次諸懸案の解決を進めてまいりました。

しかしながら大苫小牧建設のための商工漁業の振興、市民文化施設の充実、住宅難の解消や失業対策などの民生安定、周辺原野の開拓など前途に幾多の大切な行政課題が積み重なっているのでありまして、しかも市勢発展の根本であります港湾築設工事の進展とこれに併行する工場誘致の実現は、あたかも社会経済界の不振と政府緊縮予算のデフレ政策、加うるに市財政の緊縮の立場から誠に困難が伴うものと存ずるものでありますが、幸いにして、港湾については、本年度内に船入澗も完成して入船も可能となる見通しもつき、その経済効果は期待されるところであり、更に昨年十二月港湾促進上京運動の際、道開発庁長官から力強い意見を披瀝されて前途に明るい希望を持ちました。今後ますます本事業の早期完成に強力にして不断の精進を続ける覚悟を新たにしている次才であります。また工場誘致につきましても周密な調査と確固たる構想や万全の措置とをもって適切な企業体の誘致をすみやかに実現せしめたい所存であります。

どうぞ市民の皆さまにおかれましても、はつらつたる青年期にあるわが郷土苫小牧の希望に燃える市政の前途に深い御理解と一そうの御協力とを賜わりますよう念願してやみません。輝く昭和三十一年の関頭にあたり、市民皆さまの御健康と御多幸を切にお祈りいたしますとともに、所懐の一端を申し述べまして新年の御あいさつといたします。

たすけあって人馬の渡河

86才を迎えて

名誉市民 小保方卯市

ことし八十六才を迎え、当市に居を定めてから満六十年になります、明治二十九年私が来た当時には当地方の主要産業である漁業は振わず、人口は減る、経済状態も極度にひつ迫、漁場も牧場も資本家の手に移るという惨状を呈しました。こんな不景気な中にあつて私は何かしつかりした生活の道を考えなければならなかつたのです。三十一年錦多峰の駅が貨物取扱いを開始したので貨物運送取扱を生業としているうちに苫小牧駅の運送業の譲渡をうけ三十三年に当地に移転開業したもの丶沿岸漁業家の窮状から営業も成り立たないような状態でした、しかし運送業者は物資を集めて輸送するのが目的ですから何とか物資を産み出して苦境を打開することを思い立ち、まず漁業家を説いて鰈漁の試験をしてもらうことが最上の策と意を決し有力者と相談の結果、西村という親方に試験を依頼して川崎船三隻を回送して試験してもらつたところ好成績でした。それで西村さんの船はもちろん、室蘭および沿岸の漁師もだんだん苫小牧に移動するようになり、最高で川崎船約百艘以上となり、一日の漁獲高は七、八十屯から百屯以上という盛況を呈し、市内もなか〱活気を帯びてまいりました。こういう状態が明治三十六年ころから四十六、七年まで続き、しかも三十八年は大漁業家の地引網も近年にないという大漁でした、そのうちに王子製紙工場が建設されることになつて、測量隊がどんどん入つて運送業者も多忙を極め臨時の店員を雇入れるという景況で私もいよいよ苫小牧に永住の腹を固め、そして郷土の発展に努力することを決意しました。大正九年道会議員の改選期には当地から議員を送り出そうと衆議が一決、不肖私を候補として村長をはじめ有力者の推せんをうけ幸い当選いたしました。私はまず才一に悲惨な状態にあつた鵡川土功組合の救済、才二に勇払原野の開発、才三に中等学校の設置などの実現に奔走いたしたが、いずれも解決実現は容易でなく、特に勇払原野の開発は今なお目的を達成できないことを遺憾と存じておりますが、当時道会は地方費財産として開発するということで大正二年沼の端に事務所を設け測量隊まで入り込み村からも現地に陳情に出かけ道庁、道会などにはたらきかけたものゝ地方費財産とは利益を目的とするものなので、いかに請願しても中々進行をみるに至らなかつたのですが、私としては当時から開発は国費で行うべきであるとし、道会に建議して爾来今日に至つております。

またこの間、私は当地は地の利を得ているのと東洋一の王子製紙工場の所在地であるので行政機関の必要なることを考察して種々の機関の設置を呼びかけました。また一方王子製紙会社の発展に伴い従業員は年ごとに増加、更に戦時中勇払再生製紙工場が誕生して、その後国策パルプ工場に合併、今日の隆盛をみるに至り、自然人口が増加して各種行政機関が設置され、加えて多年要望されていた苫小牧工業港も起工の運びとなり今や人口五万一千三百を数えるという盛況をみましたことは誠に感慨無量であります。

まず第一にガス事業

市議会議長 塚田重

清々しき新年を迎え、しかも本紙を通じて市民の皆さんに御あいさつを申し上げることができますことを心から嬉しく存ずるものであります。皆さんも等しく感じられることゝ思いますが、元旦を迎えますと何となしに気持が新しくなり、新しい構想や希望がおのずから湧いて来るのでありますが、私は特に本年はこの感が強いのであります。さて、ちなみに昨年を振返つて見ますと、何かしらあわたゞしいものがありまして、地方議会も、また中央政界も変動が激しく、更にわが国の国際的地位に関する問題においても最後に国連加入を拒否される等、思えば残念なことではありますが、これら一連の動きがすべて次に来るべきよろこびの下ごしらえという感じがありまして、今年こそ目覚ましい発展が約束されていると感ずるものであります。即ち当市挙げての一大懸案事項といえば何といっても勇払原野開発に伴う苫小牧工業港の実現と必然的に生じてくる工場誘致問題であります。これにつきましては、議会もすでに港湾促進及び工場誘致の為特別委員会を構成して従来に増して活発なる動きをいたしておりますが、大体昨年において幅広い布石を一応整えたという状況であります。一方港湾築設の現況は技術陣の献身的努力により着々とその成果が挙り、本年は作業船用の船入澗に一般漁船をも入港せしめ、まずもつて経済効果を挙げようと企図しているのでありますが、この状態が実現すると港の様相に大きな変化が起り、非常に活況を呈して来るわけであります。次にこれに伴つて港湾附随の施設ということも考えられ、当然工場の進出が豫期されますので特別委員会は特に石炭及び木材を主とする工業という点について研究中であります。

以上は本市懸案事項の大要でありますが、この如く市の発展に即応するものとしてさらにガス事業が考えられております。このガス事業は文化生活を標榜する当市として先ず才一に取上げるべき問題と考えている次才であります。

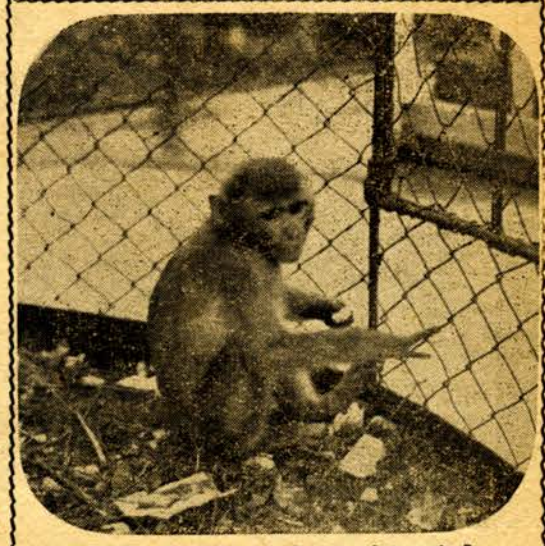
以上二、三を取り上げてみても実に大きな事項でありますが、加えて都市計画に伴う道路、橋梁の問題等何れ劣らぬ重要事項と申すべきであります。然してかゝる問題を解決する根源は果して何処にあるかと反省しますに、勿論市議会や市当局の努力も必要でありますが、これにも増して必要なることは市民の皆さんの御理解と御協力であります。これなくして民主政治は推進されないものと信じますが、この点において完べきが期せられたならば本年の成果こそ期してまつべきものがあります。

新年に際していさゝかかたぐるしい言葉になつてしまいましたが、躍進の年を迎えて心を新たにすると共に覚悟と希望を申し述べ御挨拶にかえます。

賀正 元旦

苫小牧市役所
市長 田中正太郎
助役兼工営部長事務取扱 大泉源郎
収入役 荻野大五郎
総務部長 新岡正敏
総務課長 本山繁雄
税務課長 池田元治
農林課長 伊藤一男
商工水産課長 秋保武夫
財政課長 山下眞
保健課長 勝山正三
交通課長 柏木三治郎
土木課長兼都市計画課長 高野利雄
水道課長 吉田篤郎
建築課長 後藤弘義
福祉事務所長 森岡一男
勇払出張所長 秋元重則
企画室長 荒川忠夫

苫小牧市議會
議長 塚田重
副議長 渡邊広織
総務委員長 佐々木重司
〃副委員長 中村瞭信
文教委員長 遠山五十二
〃副委員長 田村繁
厚生委員長 格地正都
〃副委員長 中村繁雄
産業委員長 蠣崎藏治
〃副委員長 竹田鉄夫
施設委員長 田中創吉
〃副委員長 合坪正三
公営事業委員長 松原澤光
〃副委員長 佐藤二男
港湾促進特別委員会委員長 深澤正男
〃副委員長 藤原博彌
工場誘致特別委員会委員長 五十嵐泰
〃副委員長 丹羽秀雄
議会選出監査委員、産業・公営事業委員 菊地善吾
議会選出教育委員 海堀つむ
[illegible] 船水平四郎
[illegible] 中橋隆平
[illegible] 市岡吉男
[illegible] 岩本三郎衞
[illegible] 本間敏幸
[illegible] 須佐惣太郎
[illegible] 高坂永松
[illegible] 鳥越秉次郎
文教・厚生委員 山崎勝雄
総務・施設委員 相武吉治郎
事務局長 篠原金治郎



ことしはボクの年です

「見ざる」「言わざる」「聞かざる」といわれておりますが新春から大いに「言おう」「見よう」「聞こう」と改めました。市民の皆さまどうぞ宜しく。

倉田團長ら41名表彰に輝く

勇拂自治會、沼の端部落會に感謝状

初式出消防

六日の消防出初式につぎの方たちが表彰されます。

▽道知事表彰
30年以上勤続＝才一分団長板谷信吉
20年以上＝才三分団部長鈴木仁助
10年以上＝才一分団長佐藤秀直、班長若山信平、才三分団長須佐惣太郎、消防員高橋鉄也、才五分団部長海島勝蔵、消防員奥留三郎、小田一郎

▽道消防協会長表彰
30年以上勤続＝才三分団班長佐藤亀治、才四分団副分団長宮崎重雄
20年以上勤続＝才一分団副分団長本間富太郎、才三分団部長鈴木仁助、班長佐藤二郎、消防員中野謙吉、中山由太郎、林幸作、消防員千葉敏雄、港孝一郎、峯木作、戸島貞男、遠藤常雄、田中久男

▽苦小牧市長表彰
功労表彰＝団長倉田仁太郎、才三分団班長西垣忠信、班長矢内兵衛、消防員高橋勇三郎、消防員上田正一、古川富重、成田長助、浅野政吉、才四分団消防員高橋鉄也、金沢長男、才五分団部長海島勝蔵、消防員奥留三郎、小田一郎、（王子消防隊）副隊長佐藤二郎、消防員中野謙吉、中山由太郎、林幸作、消防員千葉敏雄、港孝一郎、峯木作、戸島貞男、遠藤常雄、田中久男

▽苦小牧市長表彰
功労表彰＝団長倉田仁太郎、才三分団部長鈴木仁助、才一分団長佐藤秀直、班長若山信平、才三分団長須佐惣太郎、消防員高橋鉄也、才五分団部長海島勝蔵、消防員奥留三郎、小田一郎、才一分団部長佐藤秀直、班長若山信平、消防員松尾正、才二分団消防員白取浅春、吉川文博、才三分団班長西垣忠信、班長矢内兵衛、消防員高橋勇三郎、消防員上田正一、古川富重、成田長助、浅野政吉、才四分団消防員高橋鉄也、金沢長男、才五分団部長海島勝蔵、消防員奥留三郎、小田一郎、（王子消防隊）副隊長佐藤二郎、消防員中野謙吉、中山由太郎、林幸作、消防員千葉敏雄、港孝一郎、峯木作、戸島貞男、遠藤常雄、田中久男

▽六日午前九時＝消防本部、消防署、消防団一、二分団、王子消防隊（東小学校々庭）

▽八日午前十時＝錦岡才四分団（小学校々庭）

▽十日午前十時＝勇払才五分団（詰所前）

▽十二日午前十時＝沼の端才三分団（詰所前）

▽二十一日午前十時＝勇払国策自警団（工場前）

六日 東小校庭で

市消防本部の恒例による出初式の日程はつぎのとおりで、勇払、沼の端両分団は詰所の落成式も併せて行います。

あけましておめでとう!!

田中市長ら ラジオでご挨拶

NHK室蘭放送局では、例年のとおり「ラジオ年賀状」（才一放送）を一日から三日まで放送しますが、当市では田中市長ら七氏がマイクを通じて市民の皆様に「あけましておめでとう」と年頭のご挨拶をいたします

才元旦午前十一時五十分から正午まで＝名誉市民小保方卯市翁

才二日午前七時十五分から三十分まで＝田中市長、才二日午前十一時五十分から正午まで＝塚田市議会議長、岩倉商工会議所会頭

才三日午前七時十五分から三十分まで＝山本王子工場長代理、吉住地区労協議長

才三日午前十一時五十分から正午まで＝篠崎脳振生産連会長

森田教育長放送

市教委教育長森田勇氏は一月八日（日曜）午前八時五十分から九時までの「家庭と学校の時間」（室蘭放送局才二放送）に〝苫小牧市の教育計画〟について放送いたします。

詰所の建築に多額の金員を寄附した勇払自治会、沼の端部落会に市長から感謝状を贈ります。

市教委から成年該當者へ

成人式と記念行事は

15日午前午後の二回行う

一月十五日は成年になられた方を祝う成人の日であります。市ではこの日成人式並びに記念行事を市公民館で行いますが、この成人祭に参加する該当者は毎年市勢の発展膨脹に応えて増加し、今年は男子五百十二名女子四百八十名計九百九十二名の多数に達しましたため会場が狭くなり、市教育委員会ではやむなくつぎのように午前、午后の二回に分け実施することにいたしましたから、ご了承下さいまして例年どおり多数ご参加下さい。なお案内状に充分注意され、あなたの参加される時間を間違わないよう特にお願いします。また案内状は皆さまのお手元に届いているはずですが、届かない方は直ちに市の教育委員会へ御連絡下さい。

㈠一月十五日午前九時の参会範囲
樽前、柏原、静川、植苗全区、美沢、錦岡、沼の端、糸井、高丘、丸山、中野、東京開拓、山手町西町、西弥生、王子西部（一区から七区まで）七区、八区、勇払（一群から七群まで）マコマイ勇払辨天、辨天開拓、国策社宅、国策寮合計五一一名

㈡一月十五日午后一時三十分の参会範囲
市内一区、二区、三区、四区、五区、六区、鉄道区、旭町区、王子中部全群、王子東部全群合計四八一名

市長ら慰問

市から見舞金

市では去る二十四日市内の生活保護をうけている家庭二四三世帯（八六三名）に対し一世帯あたり三百円、家族一人あたり百円づつ、このほか病院や養老院に入っている貧困者四九人に対し一人千円づつ合計二十八万八千二百円の歳末見舞金を贈りました。

なお一日から展開されていた市社会福祉協議会の「歳末援護運動」で集まった金品は二十六日に配分いたしました。

昭和三十年度共同募金運動の御報告について

昭和三十年度国民扶け合い共同募金運動につきましては、市民各位の絶大なる御協力御配慮によって左記の通りの金額が寄せられましたので茲に厚く御礼申上げますと共に御報告致します

記

一、戸別募金　六三〇、九八〇円也
一、大口募金　三九二、九〇〇円也
一、街頭募金　一三五、〇八七円也
一、催物募金　一三二、一七三円也
総額金　一、二九一、一四〇円也

この尊い浄財は必ず皆様の御期待に添う様に配分使用致します

昭和三十年十二月二十日

社会福祉法人　北海道共同募金会
苫小牧市支会長　渡邊広繼

華美な服装はやめましょう

小中學校生の冬休み心得帳

市内小中学校の冬休みは十二月二十六日から一月十九日までの二十五日間ですがその間の児童生徒の指導について学校長会議でつぎの方針をきめましたのでご協力をお願いいたします。

○夜間の外出について
正月中も華美な服装をしない、他への影響力が大きいからお互に自粛すること

○服装について
小遣帳をつけて無駄使いしないように使い方を工夫する、できるだけ貯金すること

○小遣について
原則にして、正月中でも午後八時までには帰宅する、夜間の一人歩きは慎しむこと

○スケートすべりについて
校庭にリンクを設けるから、自校のリンクを利用すること
街路や、氷のうすい沼や川での遊びは危いからやめること

○映画観覧について
学校で推薦する映画に限る

○その他について
飲食店に出入りしない、過分なプレゼントをやめる、年賀状は自作のものを手交するのが望ましい
プロレスやチャンバラ遊びなどの危険な遊びをやめること

人權擁護委員再選

この市議会で人権擁護委員推薦が行われ、前委員遠山五十二議員が再選されました。

市議會

補正豫算原案どおり可決

才八回定例市議会は十二月十九、廿日二日間開会市長の諸般報告について前回産業委員会付託になつていた市農業振興計画を原案どおり可決、又樽前部落電化幹線工事費支出に関する請願は更に継続審査することとし、陳情案件工業高等学校體育館建築についての市費百万円の助成はこれを採択、教職員住宅の緩和方に関する陳情は厚生、文教両委員会に付託し、次いで百十八万円の補正豫算案を可決して本会議を一たん終え引続き議員協議会を開き、生活困窮者並びに日雇労務者に対して越年資金支給等に関する陳情は越年資金五百円外に作業用品購入補助金五百円を繰上げ支給する事にし、また市職員に対する年末手当支給は前年どおりと決め、再び本会議を開き期末手当等豫算措置に関する一般会計七百一万六千円の追加の補正豫算案及び上水道事業、交通事業、市立病院特別会計豫算補正案をそれ〳〵可決閉会しました。

一月分のお米の配給は十三日分

一月分のお米の配給は、内地米十一日、指定外米二日合計十三日分（十二月中に二日分先渡し）です。このほか希望配給として三日分（内地米）ありますが、これは希望によつては内地米の代りに普通外米で配給がうけられます。

一月分生活扶助費は十三日に支給いたします

生活保護法による生活・住宅・教育扶助費（一月分）は一月十三日（金曜日）午前十時から午後四時までの間に支給いたしますから、該当者は当日時間厳守の上御受領下さい。

なお当日は印鑑を忘れずにご持参願います。

苫小牧市福祉事務所

◆お餅入り鹽ざけの酒蒸鍋

㈠材料（五人分）＝塩ざけ（またはます）一〇〇匁、餅一〇切れ、昆布一〇センチ、葱五本、人参（小）一本、白菜一〇〇匁、七味唐辛子少々、出汁一カップ、酒大匙二杯

㈡作り方＝①塩ざけ（余り塩気の強いときは塩ぬきする）は骨ごと二センチ位の角に切ります。人参は大きい短冊に、葱は斜切り、白菜も短冊に切ります。②昆布は乾いた布巾で砂を払い、鍋底に敷いて出汁、酒を入れ、塩ざけの半量だけを入れて、その上に白菜、葱、人参の半量を重ね、更にさけと野菜をのせて煮込みます。食卓に出す前に、小さく切つてこんがり焼いたお餅を入れ、七味唐辛子をふりかけ、蓋をしたまゝすゝめます。

◆葛湯みかん

㈠材料＝みかん七〇匁、砂糖四〇匁、片栗粉八匁

㈡作り方＝さむい時によろこばれる即席の飲み物です。みかんの袋に切り目を入れて中身をとり出し、砂糖を上からまぶしておきます。お湯をわかし、片栗粉を水どきして入れて葛湯をつくり、みかんと砂糖とを加えてあたたかいうちに飲みます。みかんを入れてから長く煮ますとにが味が出ますからご注意下さい。練詰のみかんをつかう時は、汁も全部葛湯の方に入れますと甘くて一そうおいしいものができます。

賀正 元旦

苫小牧市教育委員会
委員長 小野貢
副委員長 海堀つとむ
委員 脇松次郎
〃 吉住秀雄
〃 瀬戸藤市勇
教育長 森田中経
公民館長 田中正

苫小牧市監査委員会
監査委員 菊地善吾
〃 保利啓吉

苫小牧市選挙管理委員会
委員長 工藤政治
委員長代理 萬谷吉直
委員 荒澤哲翁

苫小牧市農業委員会
会長 森春明
外委員職員一同

苫小牧市社會福祉協議会
会長 菊地善吾

日本赤十字社苫小牧市地區
地区長 田中正太郎

北海道共同募金會苫小牧市支會
支会長 渡邊広繼

苫小牧市民生委員協議會
会長 加藤虎雄

苫小牧市公平委員會
委員長 竹本清八
委員長代理 先田秀吉
委員 鷲津雄

苫小牧市消防本部
消防長 堀江政之

苫小牧市消防署
署長 堀江政一
次席 角田

苫小牧市消防團
団長 倉田仁太郎
副団長 脇松次郎
本部長 錦戸正一郎

苫小牧市立病院
院長 矢倉安太郎
副院長 矢野徹
〃 牧田茂雄
事務長 押切三郎